

社会福祉法人ゆずり葉主催
第5回 親亡き後研修会



< 演題 >

**支援から共生へ、障害から生涯へ
～幸せに生きる力を育むために～**

日時 : 平成29年3月4日(土)
14:00～15:30

場所 : 嬉野市塩田町 リバティ文化ホール

講師 : **安部 博志** (あんべ ひろし) 先生

筑波大学附属大塚特別支援学校 (東京都文京区)
地域支援部長

< 安部 博志 先生 >



安部先生は、地域支援部長として地域の小中学校等の支援をされています。今回は、クラスの子どもたちや発達障害のある子どもたちへ行ってきた支援内容を、具体的・実践的に講義していただきます。

安部先生は、平成22年度文部科学大臣 優秀教員表彰を受けておられ、また、「子どもと家族を支える特別支援教育へのナビゲーション」「発達障害の子どもの指導で悩む先生へのメッセージ 結い廻る:つながっていきましょ!

(がんばれ先生シリーズ)」を出版されています。

今回は、特別に講演をお引き受けいただきました。先生は 佐賀県に来るのは初めてだそうです。

**熱心で 明るい安部先生に学び、親も先生も職員の皆様も、
み～んな 元気を出していきましょう!**

親亡き後研修会のご案内

「子どもたちが幸せに生きていくため」の教育と福祉を、み～んなで学び・考えましょう！是非出席してください。

お待ちしております。

社会福祉法人ゆずり葉 理事長 梶川 靖弘



当法人は、障害福祉の発展のために活動を続けており、「親亡き後でも子どもたちが幸せに暮らしていけるように」との願いから、毎年 成年後見制度等の法律や制度の研修会を開催してきました。

第5回目となる今回は、安部博志先生に「教育とは、子どもを幸せに導くこと」を具体的に話してもらいます。

文科省は、小中学生の6.5%に発達障害の可能性があることと発表しています。40人のクラスであれば、なんと2人～3人の生徒に発達障害の可能性があることとなります。また、複数の障害を併せ持つ者もいるため、単純な合計にはならないものの、日本国民のおよそ6%が何らかの障害を有しており、つまり17人に1人は障害を有していることとなります。

皆さんは、これらの統計をどうお考えになりますか？

17人のうち1人に障害があるというのであれば、もう他人事ではありませんよね。「障害有無に関係なく、すべての人が幸せに生きていくこと」を地域ぐるみで考えましょう。

とはいえ、何らかの障害のある人やそのご家族には、人にはわからない苦労があります。だからこそ、早期より適切な教育を受けて、社会になじみ・自立した生活ができるようになるよう、地域の理解と支援が必要だと考えます。

「子どもたちには、たとえ親亡き後でも幸せに生きて欲しい」これはみんなの願いです。

そのために、親も教師も地域ぐるみで、安部博志先生の講義を聴いて、学び、元気を出しましょう!!

安部先生の話が聞けるチャンスです。多数のご出席をお待ちしています。

この開催案内は、当法人のホームページにも掲載しています



<http://www.nature21.net/>

「地域いきいき さがふれあい基金」助成金により実施します

安部博志先生の話を聞けるチャンスを逃さず
多数のご参加をお願いします！

事前申し込みは

⇒社会福祉法人ゆずり葉 生活介護 すずらん（横田）まで
別添の FAX で申込 又は ☎954-28-9580
メール suzuran@nature21.net でお願いします
（会場が広いので当日参加でも OK です）

<会場案内> 嬉野市塩田町五町田 628

嬉野市社会文化会館 **リバティ**（文化ホール）

